

もっと笑顔で、暮らせる明日へ。

aito

12

Dec 2020

No.309



再びカメラを手に、自然美を求めて

羽黒支所管内 菅原 真一さん(72)



10~20代の頃からカメラが好きで、知人の結婚式やパーティーなどでもよく撮影していました。仕事などでカメラから遠ざかっていた時期もありましたが、55歳の時、友人から写真愛好家が集まるグループ「写団はぐろ」への加入を勧められ、再びカメラを手に取るようになりました。私の作品は風景写真が中心で、近年は鶴岡市のアートフォーラムや地域の施設で同グループとして写真展示会を行っています。自然を相手にイメージ通りの撮影をするのは難しく、長い時間を費やすこともありますが、思い描いていた瞬間が訪れ、無心でシャッターを切り、納得のいく写真に仕上がったときの喜びは何にも代え難いものです。今後も自然美を撮り続けていきたいと思っています。



この花の写真は、3年の月日をかけて撮影。

優しい心を持って元気に大きくなつてね！

三川支所管内 今野 愛空さん(10)・心和ちゃん(6)
優月ちゃん(2)

妹たちの面倒見も良く、しっかり者の愛空さんは、体を動かすことが好きで友達とバスケットボールをして遊んでいます。

元気いっぱいでの家族のムードメーカーである心和ちゃんは、おままごとやお絵描きに熱中しています。

お姉ちゃんたちが大好きな優月ちゃんは、保育園で覚えた歌や踊りを家族に披露してくれます。

たまに喧嘩もあるけど
とっても仲良しの3姉妹！



ファミリーファーム

若手の担い手として
地元農業の振興を

朝日支所管内 小野寺 哲さん(42)・瑞穂さん(40)
慧さん(11)・愛さん(9)
悠くん(5)

(哲さん) 幼少期から家業である農業を手伝い、現在は会社勤めをしながら兼業農家として、母と水稻を栽培しています。春から大切に育ててきた米が実りの秋を迎えた時は農家としてのやりがいを感じます。今後は水稻の作付面積を維持しながら、若手の担い手として地元農業を盛り上げていきたいと考えています。

地区の生産組合長などを務めていることで水稻生産者に栽培技術を教えて頂ける機会が多く、農業をしているからこそ生まれた繋がりを今後も大切にしていきたいです。また、2年前に新調したコンバインがあるので、決意を新たにし、農業へ取り組んでいきます。



庄農生トライ

SHONOSEI TRY

子供たちにも農業の楽しさを伝えたい

食品科学科3年 庄司 文慧さん 酒田市



私は庄内農業高等学校での授業や収穫感謝祭を通して、農業の大切さを学ぶことができました。その経験を生かし、私は将来、農業もできる保育士になりたいと考えています。子供たちに農業と触れ合う機会を体験させてあげることで、日々食卓にあがるご飯や野菜などの食べ物の大切さ、命の源である食料への感謝を、子供たちが自分自身の体を使って感じてほしいと思っています。今は、そのために着実に一步歩み、勉学に励んでいきます。

「旬」を食べる

庄内産軟白ねぎは「甘味」と「食感」がちがう
気候を活かした栽培方法がポイント

雪中軟白ねぎは、普通の長ネギよりも辛みがマイルドでとろけるような甘味と柔らかさの中にサクッとした食感が心地よくサラダ感覚での料理にもピッタリです。また、緑の部分も格段に柔らかく、余すところなく食べられます。通常のねぎは白根部分が土の中に埋まっていますが、軟白ねぎは地上で白根部分を作ります。当地は雪国そのため冬は周りが雪に覆われており、適度な湿度と低温でじっくり育ちますので甘味が出るのであります。

関東方面の市場へ出荷されている他、地元では当JA産直「んめ農マルシェ」や他スーパーでもお買い求めいただけます。庄内地方の各JAと出荷規格を統一し産地として高品質栽培と販売促進を図っております。市場や量販店からの引き合いも年々強くなっています。確実に売り場ブースは増大しているなど、高い品質として評価されております。



東京青果株式会社 井上 碧さん
(写真中央)

県産米は全国で大人気! 五感で感じる美味さ
家庭の食卓で愛され、業務用の引き合いも強い

山形県は、奥羽山脈が近海からの冷風をさえぎり冷害が起こりにくい地域です。昼と夜の温度差が大きく、昼間に太陽の光からできた栄養分を、涼しい夜の間に種子に蓄えることができます。また、多量の降雪が春の雪どけ時に水となって山から川へ流れ、豊かな水の恵みをもたらしています。先人たちが築き上げた稻作の知恵は現代に引き継がれ、米作りへの情熱とこだわりが、美味しいお米の産地形成に繋がっております。「つや姫」や「はえぬき」「雪若丸」等は、味、香り、外観、食感、粘りに優れた品種であり、業者・消費者からの評価が高い品種となっております。



▶つや姫はデビュー11年目を迎え、全国の量販店・生協などを中心に、高価格帯銘柄としての地位を確立しており、定番商品として認知されている。現在、東北地方のセブンイレブンで県産米つや姫を使用したおにぎりも販売中。
▶はえぬきは、ブレンド特性に優れており、炊き増え率・味度数・食味筋が高く、2019年度に引き続き、精米ではもちろん、大手コンビニ、回転寿司、駅弁などの業務用としても幅広く消費されています。

2018年に
全国デビュー。
雪若丸も
大好評です。



寒河江さんのコメント▶山形県の令和2年
産水稻作付面積は、6万4,700ha（前年産
+200ha）、うち主食用作付見込面積は5万
6,500haであります。水稻の10%当たり
収量は622kgと予想されております。全農
山形県本部では、生産者の皆様はじめ、関
係各所の皆様の努力の結晶である「山形県
産米」を全国の消費者にお届けするため、
これからも販売に邁進してまいります。



J A 全農山形県本部米穀部
米穀集荷販売課
寒河江 大樹さん



「雪若丸」「はえぬき」等の新米が販売され、消費者や市場担当者からの品質評価は高いものとなっています。
また、庄内産として市場でも地位を確立しつつある「軟白ねぎ」の栽培・収穫が今後、最盛期を迎えます。

「旬」の食材を食べて心と体を整え、寒い季節を元気に乗り切りましょう。



軟白ねぎ、しめじ、人参、キャベツ、豆腐で栄養満点

「新米つや姫ご飯と軟白ねぎを使ったお味噌汁」

「つや姫」はその名の通り、艶があることが特徴であり、甘み・旨味を兼ね備えた山形県を代表するお米です。軟白ねぎはビタミンB群やビタミンC、アミノ酸の働きにより疲労回復や風邪予防の効果が期待できます。朝食メニューにいかがですか？

融資／推進強化へ涉外担当者ら意見交換

当JAとJAさがえ西村山は11月13日、当JA本所で融資担当者の合同研修会を開いた。農業メインバンクとしての機能強化と利用者満足度（CS）向上に向け、住宅ローンと農業融資推進の在り方や課題などを探った。研修会は、事業規模が同程度で融資専門担当を本所に配置しているなどの共通点もあることから、JAさがえ西村山からの提案を受け実現した。両JAの融資担当職員や農林中央金庫山形支店の職員ら15人が出席し、互いの融資専門体制や融資実績について報告した他、各取り組みについて意見を交わした。

住宅ローンは融資先への訪問頻度や対応方法、本所・支所間の役割分担などについて、農業資金では農業法人などへのアプローチの仕方やニーズの掘り起こし策、農機部門などとの部門間連携、チラシ活用などについて情報を交換した。これらの中で両JAの担当者は、情報収集に力を入れた「担当手に出向く活動」の強化でCS向上に努めていく重要性を再認識した。当JAの齋藤学常務は「JAの強みである事業間連携を密にし、融資推進のための専門活動に、さらに磨きをかけてほしい」と激励した。両JAは今後も定期的な情報交換を行い、互いの長所などを取り入れながら事業伸長につなげていく予定だ。



挨拶を述べる齋藤常務

アスパラガス／茎枯病対策にバーナー焼却処理を実演

アスパラガス部会が11月12日、羽黒地域でアスパラガスの株元や茎葉に見られる茎枯病の菌を焼却するバーナー処理の講習会を開いた。部会員ら約20人が参加し、メーカー担当者の実演を熟視しながら、性能や処理能力などについて意見を交わした。これまで管内の一部の圃場でも同病が確認されていることを受け、部会の中では晩秋と早春に焼却処理をすることに加え、薬剤防除などを組み合わせた総合的防除策が望ましいという意見が出されている。さらなる産地化を目指す上で、JAと部会は今後、指定圃場で同機器の処理能力やコスト面などを検証し、早ければ来春の導入を検討していく。



シイタケ／需要期に向けた栽培管理を確認

椎茸部会は11月24日、管内で全体研修会を開いた。部会員ら約20人が参加し、年末年始の単価向上が見込める需要期に向けた栽培管理を学んだ。菌床の製造・販売を行う三川町の㈲庄内きのこ培養センターの施設内を見学した後、藤島地域にある部会員のハウスに移動し、冬期間の菌床管理のポイントを確認。同行した種菌メーカーの担当者は、発生・灌水の適期実施とハウス内の温度管理の徹底を部会員らへ呼び掛けた。部会では、今後も定期的にハウス巡回などを行なながら、更なる品質向上を目指す。JAは今年度で出荷量200㌧、販売高2億円を目指し、関東圏の市場などへ出荷していく。



地域とJAを結ぶネットワーク 各地の話題を追って

JA NEWS

掲載記事の詳細はホーム
ページに掲載しております



鶴岡市へカーブミラー寄贈

交通事故防止に役立ててもらおうと、当JAとJA鶴岡、JA共済連山形は11月9日、鶴岡市にカーブミラー21基を寄贈した。当JAの菅原勝専務やJA鶴岡の佐藤茂一組合長らが同市を訪れ、皆川治市長に目録とカーブミラーのレプリカを手渡した。皆川市長は「各自治会から新規設置や更新を望む声が多く寄せられている。有効活用したい」と話した。この寄贈は地域貢献活動として1973年度から始まり、同市への寄贈数は計1452基となった。この他、7月に発生した豪雨災害の共済金の支払い状況や、アンパンマン交通安全キャラバンや自転車交通安全教室などの地域貢献活動も報告された。



鶴岡市長に目録とレプリカを手渡した菅原専務（写真右）

行政へ農林予算編成の要請書を提出

JAとJA農政対策推進協議会はこの度、鶴岡市と庄内町、三川町へ2021年度農林予算編成にあたっての要請書を提出した。新型コロナウイルス対策の継続・強化、生産基盤強化対策、農村の総合振興対策を柱に、農産物の生産拡大や農業者支援策などを強く求めた。

J A役員らが各行政へ出向き、CSF（豚熱）感染対策として家畜のワクチン接種に係る養豚農家への支援策や、園芸作物の生産振興に向けた取り組みなどへの支援、鳥獣被害への万全策、情報通信技術（ICT）などを活用したスマート農業を実施する農業者への支援、さらなる高品質米への生産や施設園芸の取り組み等への支援などを改めて要請した。



女性部／役員と積極的に意見交換

女性部は11月25日、JA本所でJA役員との意見交換会を開いた。出席した部員らは、JA事業に対し継続すべき優良点や改善を求める点などJA事業や地域農業の発展、今後の女性部活動の拡充に向け、意見を交わした。この日、8支部の部員約20人と役員ら約30人が出席。部員からは「女性向けの柿剪定講習会は大変有意義だった」「農業の扱い手育成に努めてほしい」「組合員や地域住民に対し利便性を重視した施設再編をお願いしたい」「軽トラックのレンタルはできないか」など多角的視点からの意見等が出された。太田組合長は「貴重な女性の意見を今後の事業に反映していきたい」と語った。





庄内地方でのストック栽培は、昭和40年代頃から始まり、当時の新品种「初桜」を「庄内ピンク」という爱称で売り出しました。その後、東北や関東、北海道を中心の大ヒットし、庄内産花きの需要が一気に高まりました。平成7年に設立した花き部会ストック専門部では、水稻育苗後のハウスを活用した栽培が主流になったことに合わせ、共選体制を整備し、生産者同士が栽培技術を教え合う手法で技術向上に努めてきました。

現在、専門部では80人が580戸で栽培しており、11月から翌年の4月まで年間平均25人で栽培しております。

今後も、高品質ストックの出荷に向け生産者・行政・JAが一
体となって取り組んでいきます。

新型コロナウイルス発生当初は非常に販売状況も厳しかったですが、緊急事態宣言が解除され需要などについては今後も大きくなっています。しかし、ブライダル需要などについても回復は見込めないと予想しています。自宅に滞在する時間が長くなっていることもあります。ホーミュースの消費は少しずつではありますが、拡大していくのではないかと思っています。

共済Q&A

Q 自動車共済の「車両新価保障特約」について教えてください。



■保険対象となる事例

200万円の車を新車で購入し、車両新価保障特約(200万円)を付加して自動車共済に加入。翌年、事故により車両が損傷し修理費が120万円かかることになった。

新車価格相当額 = 車両新価保障特約の金額 のため、

修理費用(120万円) > 新車価格相当額100万円
(特約200万円×50%)

となり、共済金200万円をお支払い致します。

A 偶然な事故(盗難を除きます)によって、ご契約のお車が所定の全損*となった場合に、あらかじめ定めた新車価格相当額を共済金としてお支払いします。

詳しい保険内容、加入条件、掛金等については、各支所共済窓口までお問い合わせいただきますようお願いいたします。

*車両新価保障特約における全損とは、ご契約のお車の修理費が新車価格相当額の50%以上となった場合等、共済約款において定めた状態となった場合をいいます。

お問い合わせは
各支所共済窓口まで

温海支所 0235-43-3411 藤島支所 0235-64-5838 榛引支所 0235-57-2994
新余目支所 0234-43-4426 三川支所 0235-66-2797 朝日支所 0235-53-2512
立川支所 0234-56-2155 羽黒支所 0235-62-2140

園特 特集

安定した品質に定評『ストック』 予冷庫新設で所得向上へ期待大

トルコギキョウ/予冷庫新設で販売単価12%高を実現

花き部会トルコギキョウ専門部は11月19日、JA新余目支所で総会と作況反省会を開いた。7月に新設した花き専用の予冷庫で前々日集荷による市場への早期数量報告が奏功し、販売単価が前年比12%高の1本147円となり有利販売を実現した。また、秋出荷作型において開花期に高温で推移したため順調に生育し、十分な草丈を確保できたとし、土壌消毒の徹底で2019年度より病害被害は減少し市場から高い評価を獲得したと総括した。21年度は、土壌病害対策として①排水性の確保②土壌物理性の改善③適正な土壌水分の確保の3つを徹底し、高品質生産と有利販売につなげていく。



ブドウ/来年の花芽確保へ剪定学ぶ

ぶどう部会は11月25日、櫛引地域の園地でブドウの剪定講習会を開いた。部会員約30人が、花芽の確保に重要な栽培工程である剪定の留意点を学び、来年の収量獲得へ繋げていく。県庄内総合支所農業技術普及課の指導員が、剪定作業を実演しながらポイントを説明。樹勢を観察しながら枝の先端部の芽数が基部より常に多くなるよう整枝することを部会員らへ呼び掛けた。今年産は、7月の長雨により実割れが一部の園地で見受けられたが、高品質・高糖度の果実に仕上がった。部会では、12月にデラウェアとシャインマスカット品評会の優績者の表彰式を開く予定だ。剪定作業は12月末まで続く。



女性部/高齢者の交通事故ゼロを目指して

女性部藤島支部の65歳以上の部員で構成するゴールドレディの会が11月16日、交通安全の知識を学ぼうとJA藤島支所で交通安全教室を開き、部員35人が参加した。講師を務めた鶴岡市防災安全課の職員が、県内の事故発生状況や改正後の道路交通法についてパネルを使って説明し、夜間に歩く際は明るい服装を着用し、反射材を身に着けるよう部員らへ呼び掛けた。また、「ながら運転」の危険性を寸劇で実演した他、認知症に効果がある体操を音楽に合わせて披露。参加した部員は「寸劇も分かりやすくとても楽しかった。高齢者の交通事故も年々増えてきてるので気をつけたい」と話した。



女性部/園芸知識学び、手作り日用品をお披露目

女性部温海支部は11月8日、JA温海支所で一日研修会を開いた。この日は部員ら約50人が参加。研修会では、衣類などを取り扱うメーカー担当者が冬に合わせ羽織物の布団や枕などの寝具を紹介・展示した他、JA営農販売部の職員がキュウリやキャベツ、ホウレンソウなどの日常野菜栽培における農薬の希釈方法や肥料の使用適期などを説明した。また、部員らが手作りしたバッグやカーディガン、傘福などを展示し会場を彩った。参加した部員は「たくさんためになる話を聞くことができてよかったです。家庭菜園では農薬の希釈で悩んでいたところを解決できたので早速、実践してみたい」と話した。



予定利率変動型年金共済 ライフポート⁺

退職金や余裕資金を活用し、老後の資金を貯めませんか？

年間払込 100万円を5回

10年後から5年間で受け取り 合計 約545万円

※万円未満切捨て表示

Point 1 6年目以降の予定利率が変動します！最低保証予定利率は0.75%で、これを下回ることはありません！

Point 2 残念ながら年金を受け取らずに亡くなってしまった場合は、死亡時受取人に死亡給付金をお支払いします。また、一定の条件を満たすことで、相続税算出の際の財産対象から除くことが出来ます。

※予定利率は6年目以降が現行の1.44%で推移した標記となっております。必ず標記の金額を受け取ることをお約束するものではありません。
■個人年金保険料控除の対象ではありませんので、ご注意ください。

6年目以降 予定利率推移	最低保証予定利率(0.75%)	現在適用予定利率(1.44%)
年金受取総額 (受取期間5年)	合計 約522万円	合計 約545万円

特 丁寧に 枝を置んで 雪園
特 秋夕焼 機影彼方に 点となり
特 栗を干す 日差し短き 峠の里
特 英の中 びたり寄り添ふ 落花生
鶴岡市越中山 佐藤 照子
〔評〕秋は空気が澄み、遠くの物も良く見える。夕焼を浴びて飛ぶ航空機も光りながら点となるまで見えたのである。
庄内町余目 早坂 宗笑
〔評〕松などは雪吊りにするが、一般的な庭木は葉質で同じように開く。来年は良い年でありますように。

「心の声」2月号投稿のテーマ 「2021年にチャレンジしたいことは？」

【応募方法】下記の①～③を郵便はがき・Eメールにてご記入の上ご投稿ください。(1)テーマの答え(本紙やホームページ等で掲載致します)(2)住所・氏名・年齢・電話番号(3)広報誌の感想・JAへの意見・要望など

【あて先】JA庄内たがわ広報情報係
〒999-7611
鶴岡市上藤島字備中下3-1
E-mail kouhou@ja-shonai.or.jp
【しめきり】令和2年12月31日(木)
当日消印有効
※投稿頂いた方の個人情報は、目的以外には使用いたしません。

今月のプレゼント



ソレイユ・ルパン
ロゼ2名様

参考情報

※千円未満切捨てで表示。

共済 年度	被扶養者 年齢	共済 掛金累計 (単位：万円)	解約返れい金 (単位：万円)		死亡時受取額 (単位：万円)	
			0.75%	1.44%	0.75%	1.44%
1	65	100	99.6	99.6	100.0	100.0
2	66	200	199.7	199.7	200.0	200.0
3	67	300	300.2	300.2	300.2	300.2
4	68	400	401.2	401.2	401.2	401.2
5	69	500	502.6	502.6	502.6	502.6
6	70	500	505.6	508.5	505.6	508.5
7	71	500	508.6	514.7	508.6	514.7
8	72	500	511.6	521.0	511.6	521.0
9	73	500	514.7	527.4	514.7	527.4
10	74	500	517.8	533.8	517.8	533.8

ここがポイント!! JAの年金共済

Point 1 6年目以降の予定利率が変動します！最低保証予定利率は0.75%で、これを下回ることはあります！

Point 2 残念ながら年金を受け取らずに亡くなってしまった場合は、死亡時受取人に死亡給付金をお支払いします。また、一定の条件を満たすことで、相続税算出の際の財産対象から除くことが出来ます。

※あくまでも65歳の方の例です。それ以外のご年齢の方については、上記プラン通りにならない可能性もございます。詳しくは各支所共済窓口までお問い合わせください。

JA庄内たがわ 産直んめ農マルシェ 12月イベントのお知らせ

12/29火・30水 ポイント5倍

庄内牛・庄内豚特売!

消費拡大フェア

12/26土～31木

年末感謝

セール

新巻鮭・ジンギスカン各種
紅鮭切身、開籠ホッケ

10%割引

JAカードでお買い上げの方は

請求時に5%割引!

10月から2月までの営業時間：9:00～17:30 TEL0235-25-6778 FAX0235-26-7880 E-mail sanchoku@ja-shonai.or.jp

農産物を出荷していただける産直協力会員を随時募集しています！

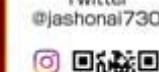
※写真・イラストはイメージです。イベント内容が予告なく変更になる場合がございますので、予めご了承下さい。

オンラインショップ

産直んめ農マルシェ

検索

SNSも
チェック
してね！



LINE ID
@498zaito

福祉介護支援センター

ティーサービス

えがお・デ・あいと

できることからやってみよう
明日は今日より多くの「笑顔」を！

11月の利用者様活動紹介

加湿器
(ロロナ村)

消費用力ボンチャコレクション

リコリーナ
(ロロナ村)

機能訓練の様子

今できないことができるよう、できることが維持・向上できるように専門スタッフと一緒に挑戦してみませんか！

介護のお問い合わせ
(居宅介護支援＜ケアマネジャー＞、訪問介護＜ホームヘルプ＞、福祉介護支援センター 通所介護＜ティーサービス＞、福祉用具レンタル・販売)

T999-7621 鶴岡市長沼字宮前23-1 Tel0235-33-8165

JA庄内たがわ お試し食材2割引き実施中 ふれあい食材宅配

(但し、他のキャンペーンがある月は除きます。)

新規利用契約の場合、1ヵ月間2割引き致しますのでお試し下さい。

お申込期間:令和3年3月31日まで

(はじめての世帯で1回に限ります。)

地元食材が豊富な
おらほの味コース

野菜たっぷり
さわやかコース

お魚が主体の
お魚コース

お肉が主体の
スタミナコース

かんたん調理
おでがるコース

お留守でも安心です…

◆お留守でも専用ボックスにいれますから新鮮で安心です。◆後払いです。毎月、月末で総額精算いたします。

◆暑い季節には冷蔵剤を入れるので、新鮮さが保たれます。◆振替は翌月の10日 現金処理は翌月処理。

宅配日 Aコース 月・水・金 藤島・三川・羽黒・温海・鶴岡市内
Bコース 火・木・土 新余目・立川・樋原・朝日

お問合せはJA庄内たがわ食材センター 0235-64-5834 または 各支所管理生活課まで

庄内町秋のフラワーショー

グランプリに高橋義夫さん(新余目)

庄内町秋のフラワーショーが11月20～22日、庄内町の響ホールで開かれ、出品数57点の中から当JA花き部会員である高橋義夫さん(新余目)のスタンダードストック「アーリーアイアンチェリー」がグランプリに輝いた。フラワーショーは、同町と同町花き振興会が主催し、毎年7月と11月に開いている。今回は、同町各地域からストックをはじめ、ダリヤ、スプレイ菊などが出品された。また、会場には女性花き生産者のフラワーアレンジメント作品も展示され、会場を彩った。22日には出品された花きの販売会も行われ、来場者が好評を博した。



忙しいあなたへ。便利でおトクなうれしいお知らせです。

「JAパンク」の便利な非対面サービスをご利用ください!!「いまだけ」の「特別金利定期貯金」を準備いたしました。

金利上乗せ「定期貯金」発売中!!

ATM・IB 0.05% (税引後 0.039%)

ATM

金利上乗せ期間

2020年11.30月▶12.31木

IB (インターネット
バンキング)

金利上乗せ期間

2020年11.30月▶2021年3.31木

詳しくは各支所貯金窓口までお問い合わせください。

「心の声」 今年はどんな年になりましたか？

2020年はコロナウイルスに振り回された年。何をかもがコロナ次第。家にいたことを思い出す時が早く来るようになります。

Y・Mさん【新余目】

2020年は「新型コロナ禍」やはり一番はこれです。自粛によりイベントも生活（働き方）が大きく変わりました。マスクもなく自由に暮らしていた日々が当たり前だったのに…今年は世界中が伝えました。まだ特効薬が無いのも不安です。

E・Hさん【新余目】

やっぱり今年はコロナでしょう。コロナで大変は多くあるでしょうが、自粛生活で断捨離が摃り、お菓子含め料理の楽しさを再確認できた。布マスクも、人のもの自分のも楽しい選択。今後も長い付き合いと思われる。

Y・Uさん【新余目】

コロナの影響で巢ごもり生活…でも、料理や筋トレで充実した毎日でした…全然瘦せてないけど。

K・Nさん【藤島】

今年は妊娠・出産・育児の1年でした。初めての出産・育児でドキドキでしたが、母の会社がコロナの影響で休みが増え、育児のお手伝いをしてくれたり、一緒に外出をして息抜きに付き合ったりしてくれました。私に似ていつもニコニコしている赤ちゃん。だんだん夫に似てきたのか猿っぽくもなってきました（笑）えっへ飲んで大きくなれの一！

R・Iさん【三川】

今年は春の苗箱出し作業も皆、マスクをしながらの異様な光景での作業スタートとなり、常に「3密」に注意しながらの子年でしたが、今年ほど大自然の環境下で伸び伸びと「密」にならず作業ができる農業のありがたさを感じさせられた年でした。

T・Kさん【羽黒】

早春からのコロナウイルスの渦中で人との関わり、繋がりが無いものながらも、絆を感じ考える一年でした。皆で乗りきりましょう！

S・Nさん【櫛引】

2020年は新型コロナの影響により自宅で過ごす時間が増えました。そこで「料理」を始めました。最初は目玉焼き程度でしたが、1年続けたらご飯を炊いて味噌汁を作り、煮物や焼き魚を作れるようになりました。

K・Yさん【朝日】

昨年の3月には実弟が亡くなり、今年に入り1月6日には実母が亡くなりました。その後、新型コロナウイルスの感染騒ぎで行動範囲は自粛のまま現在も継続中です。娘は新潟で大学最後の年となり、来年3月の卒業に向けて猛勉強中です。今年の春休みには3日間の帰省だけで今年の年末年始は帰省させないことにしました。生活の居場所が違っていても、家族の絆をしっかりと保つさえいれば、なんとか新型コロナウイルスに打ち勝ついただけるものと信じています。

K・Aさん【鶴岡市】

早くコロナおさまりますように。

M・Sさん【新潟県】

今年いっぱいはコロナで大変な世の中です。

Y・Mさん【静岡県】

今年はコロナで生活が一変ましたが、在宅時間が増えたので料理に凝るようになりました。物事のポジティブな面にも注目したいです。

R・Yさん【福岡県】

・2月号のテーマや応募方法などは本紙11ページに掲載しております。

・当JAホームページの「お問い合わせ」からのご意見・ご要望の送信は12月下旬までご利用出来ませんのでご了承下さい。



庄内たがわ

aito Dec 2020
No.309

発行／庄内たがわ農業協同組合 〒999-7611
山形県鶴岡市上藤島字備中下3-1 TEL.0235-64-3000
電子メール tagawa@ja-shonai.or.jp
印刷／庄内農村工業農業協同組合連合会



ホームページ

Twitter

Instagram

すがわら あやの
菅原 綾乃さん(23) 櫛引支所管内

地元で就職し、農業関係の仕事をしています。
休日は、ショッピングやドライブをして楽しんでいます。コロナ禍で家にいることが多いので、今後は、スポーツなど体を動かしたいと思っています。